

共同印刷、上村松園「詠哥之図」の レプリカを制作して文化財の保護・活用に貢献

共同印刷株式会社(本社:東京都文京区、代表取締役社長:大橋輝臣、以下:当社)は、大阪大学に寄贈された近代日本画家・上村松園(うえむら しょうえん)の作品「詠哥之図(えいかのず)」の高精細レプリカを制作しました。

当社アート&カルチャー事業では、半世紀以上にわたり多くの美術館や文化施設と連携し、高級美術複製画を制作してきました。厳選された素材に高精度デジタルプリントを施し、画材の質感と豊かな色調を再現した「彩美版®」は、業界屈指のブランドとして、その高い品質から多くの美術愛好家に支持されています。

今回のレプリカ制作は、大阪大学が進める文化財の保存と教育・研究活用を目的としており、当社が持つ美術印刷分野の高度な技術を生かした取り組みです。明治から昭和にかけて活躍し、女性として初めて文化勲章を受章した日本画の巨匠、上村松園の「詠哥之図」は大阪大学に寄贈された貴重な原画であり、保存・公開の両立を目的としてレプリカ制作が企画されました。

制作にあたっては、作品の撮影から原画との色合わせ、素材の選定、額装に至るまで、大阪大学の監修のもとに行われ、緊張感のあるなかで非常に慎重な作業が続きました。細部にわたる色調調整、素材感の表現など、原画の雰囲気損なわないように試行錯誤を重ねました。

2025年は上村松園の生誕150年という節目の年にあたり、文化財の再評価と次世代への継承という観点からも当社として意義深い取り組みとなりました。完成したレプリカは、今後、大阪大学のキャンパス内において展示されるほか、教育・研究資料として幅広く活用される予定です。

当社は今後も複製画で培ってきた技術と経験を生かして、文化財の保護・活用に貢献していきます。



当社が制作した「詠哥之図」レプリカ